

福岡市立こども病院・感染症センター概要

こどもが心身ともに健やかに育成されることを目的とし、こどもの成長と発達という特性に対応できる医療を行う小児医療部門と感染症部門を2本の柱とする高度な専門医療施設で、一般の診療機関で診断、治療の困難な患者を対象とした診療を行う小児専門病院である。

○沿革 昭和51年2月、「本市の医療事情、市民の医療需要を考慮し、小児医療部門と感染症部門をもつ高度専門的な診療を行う新病院を建設する。」という福岡市病院事業運営審議会答申を得て、昭和51年度予算に新病院建設事業推進費を計上し、建設に着手した。

昭和53年3月第一期工事に着工し、2年有半の歳月と80億円の費用を投じて55年8月竣工、55年9月1日から全面開院した。

○所在地 福岡市中央区唐人町二丁目5番1号

○敷地面積 16,794.30㎡

○建物面積 16,574.76㎡

○開院	感染症部門	昭和54年4月	(1979年4月)
	小児医療部門	昭和55年9月	(1980年9月)

○建設総事業費 約80億円

○診療科目 (18科)

一般小児科、循環器科、小児神経科、内分泌・代謝科、血液・免疫科、腎疾患科、新生児科、新生児循環器科、小児感染症科、成人感染症科、こころの診療科、小児外科、形成外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、心臓血管外科

○診療圏域 九州全域、中国及び四国

○職 員 数 275名(平成19年度)

医師43名、放射線技師9名、検査技師13名、臨床工学技士4名、
薬剤師5名、看護師171名、作業療法士等3名、
事務局27名〔事務局長、総務課長(管理係6名、医事係3名、
給食係15名)、主査1名〕

○診療上の特色

1. 各診療科の専門医及び医療技術者がチームを組んで診療する。
2. 一般の診療機関からの紹介予約診療を原則としている。
3. 主として、先天異常(代謝異常、染色体異常)、異常新生児、心臓疾患、新生児の外科及び感染症の診療を重点としている。
4. 一般の診療所あるいは病院小児科での入院が困難な感染症患者の入院治療を実施している。

○病 床 数 小児一般病床 190床
感染症病床 24床
合 計 214床

○病 棟 構 成

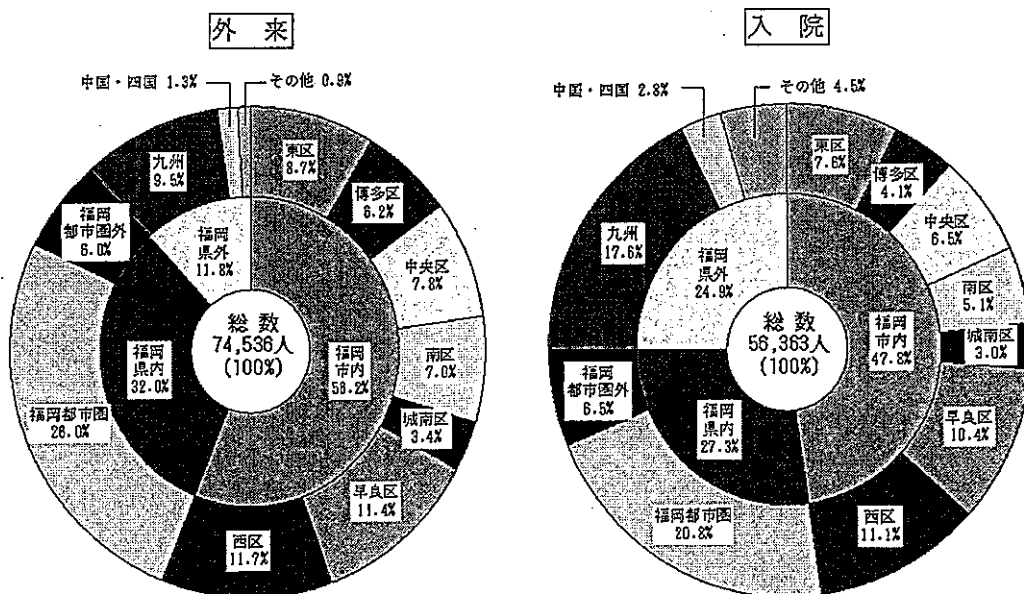
	病 棟	病床数	診 療 科 等
小 児 病 棟	6 階 病 棟	40床	小児神経科、内分泌代謝科、 血液免疫科、腎疾患科、 泌尿器科、耳鼻いんこう科
	5 階 病 棟	40床	小児外科、形成外科、整形外科、眼科
	4 階 病 棟	35床	循環器科、心臓血管外科
	3 階 病 棟	25床	集中治療室、新生児集中治療室
	計	140床	
感 染 症 病 棟	2 階 病 棟	50床	一般感染症
	1 階 病 棟	24床	指定感染症
	計	74床	
合 計		214床	

○利 用 状 況

	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	延患者数	1日当り	延患者数	1日当り	延患者数	1日当り
外来	76,635	315.4	74,153	303.9	74,536	304.2
入院	54,479	149.3	54,654	149.7	56,363	154.4

○ 地区別延患者数(平成18年度)

区 分		外 来		入 院	
		延患者数 (人)	構成比 (%)	延患者数 (人)	構成比 (%)
福岡市	東 区	6,455	8.7	4,280	7.6
	博 多 区	4,647	6.2	2,318	4.1
	中 央 区	5,820	7.8	3,664	6.5
	南 区	5,179	7.0	2,885	5.1
	城 南 区	2,555	3.4	1,715	3.0
	早 良 区	8,509	11.4	5,857	10.4
	西 区	8,740	11.7	6,226	11.1
	計	41,905	56.2	26,945	47.8
福岡県	福岡都市圏	19,408	26.0	11,746	20.8
	福岡都市圏外	4,462	6.0	3,637	6.5
	計	23,870	32.0	15,383	27.3
福岡県外	九 州	7,084	9.5	9,917	17.6
	中国・四国	1,002	1.3	1,554	2.8
	そ の 他	675	0.9	2,564	4.5
	計	8,761	11.8	14,035	24.9
合 計		74,536	100.0	56,363	100.0



○年度別心臓手術症例数

年 度	手 術 症 例 数
15年度	464
16年度	435
17年度	439
18年度	438

○病 院 予 算(平成19年度 税入)

(収入)		(支出)	
	(単位;千円)		(単位;千円)
病院事業収益	5,569,192	病院事業費用	5,639,712
資 本 的 収 入	631,438	資 本 的 支 出	1,140,636

○こども病院・感染症センターの経営状況の推移(税抜)

(単位:千円)				
項 目	15年度	16年度	17年度	18年度
病院事業収益(A)	5,979,200	5,558,930	5,495,470	5,349,994
医業収益	4,705,106	4,689,524	4,653,962	4,965,653
医業外収益	1,274,094	869,237	834,550	384,337
特別利益	0	169	6,958	4
病院事業費用(B)	5,802,482	5,714,721	5,613,368	5,436,719
医業費用	5,423,647	5,531,016	5,443,818	5,283,968
医業外費用	202,375	182,626	167,356	152,631
特別損失	176,460	1,079	2,194	120
医業収支比率	86.8%	84.8%	85.5%	94.0%
純損益(A)-(B)	176,718	△ 155,791	△ 117,898	△ 86,725
一般会計繰入金	1,383,071	1,029,236	1,020,081	589,729

※診療単価(平成 18 年度) 入院; 75,184 円 外来; 10,169 円

緊急課題

- 1.施設の老朽化と狭隘化、駐車場不足
- 2.周産期医療体制（産科）の整備と指定感染症の診療体制の再検討